# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	商工会議所活	動促進事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						•
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
	砂川商工会議所の民の福祉の向上で		することにより、	市内中小企業者の	- の経営安定、育成 <i>を</i>	推進し、商工	業の振興と地域住	手段 (どのような方法で 実現するのか)	砂川商工会議所が	が行う商工会議所	事業、中小企業相	目談所事業、商工業	<b>美近代化事業へ補</b> 題	助金を支出し支援する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川商工会議所。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	砂川商工会議所1図られる。	による経営相談業	務をはじめとする	、様々な支援対策	きが可能になり、ī	市内中小企業の経営安定・振興が
事業開始時の状況 緯		砂川商工会議所にとして事業が開始		十運営費」、「中	口小企業相談所運営	・事業費」、	「商工業近代化事業	」に係る経費の一	部を補助すること	とにより、砂川商.	工会議所が行う施	策の円滑化を図り	」、ひいては市内ロ	中小企業者の経営安定に資するもの

# [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計	画額				0				0					0	0
			予算	算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
	道	費	計	画額				0				0					0	0
				算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計	画額				0				0					0	0
投				算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	1 計	画額				0				0					0	0
さ				算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
れ	- #	投 財 源		画額	6, 763, 000	6, 763, 000		20, 289, 000	8, 375, 000	-,,	8, 375, 000		8, 375, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	33, 500, 000	78, 914, 000
_				算計上額	6, 763, 000	7, 165, 000		21, 593, 000	8, 375, 000	8, 187, 000		16, 562, 000					0	38, 155, 000
た				績 額	5, 828, 000	6, 459, 000	, ,	19, 442, 000	6, 850, 000			6, 850, 000					0	26, 292, 000
事	事業	費合計		画額	6, 763, 000	6, 763, 000	6, 763, 000	20, 289, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	25, 125, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	8, 375, 000	33, 500, 000	78, 914, 000
				算計上額	6, 763, 000	7, 165, 000	7, 665, 000	21, 593, 000	8, 375, 000	8, 187, 000	0	16, 562, 000	0	0	0	0	0	38, 155, 000
業			実	績 額	5, 828, 000	6, 459, 000	7, 155, 000	19, 442, 000	6, 850, 000	0	0	6, 850, 000	0	0	0	0	0	26, 292, 000
費					1.839.000円	商工会議所事業補助: 1,839,000円	1.843.000円		1.845.000円	商工会議所事業補助: 1,831,000円								
	車業	費予算の	,		中小企業相談所事業補 m·	中小企業相談所事業補助	中小企業相談所事業補助		中小企業相談所事業補 <sup>助・</sup>	中小企業相談所事業補								
の		内容	1		3,924,000円 商工業近代化事業補	4,326,000円 商工業近代化事業補	4,822,000円 商工業近代化事業補		5,530,000円 商工業近代化事業補	5,356,000円 商工業近代化事業補								
推					助:	助:	助:		助:	助:								
1任					1,000,000円 山小企業相談所	1,000,000円 中小企業相談所	1,000,000円 由小企業相談所		1,000,000円 山小企業相談所	1,000,000円 中小企業相談所								
移	<u> </u>	+ = # I			事業補助の増に		事業補助の増に			事業補助の減に								
		度予算と D比較			よるもの	よるもの	よるもの		よるもの	よるもの								
		減理由)																
					商工会議所事業	商工会議所事業	中小企業相談所		中小企業相談所									
	宝结	との比較	<u> </u>		補助・中小企業	補助・中小企業 相談所事業補助	事業補助の減に		事業補助の減に									
		減理由)			相談所事業補助 の減によるもの	付談所事業補助 の滅によるもの	よるもの		よるもの									
					07/1941-0-0 007	07/12/12 6 .0 007												
									1			l .						

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:商工会議	<sub>養所事業補助金額</sub>		指標の求め方:裕	輔助金額										
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:商工会議	<b>養所会員数</b>		指標の求め方:商	票の求め方:商工会議所の各年度末の会員数										
		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期	
	the at tende	Mr o Fr	Mr o trub		な 4 ケンタ	mr = m v=	Mr o Fra		mr = m v=	mr o m	m o to	775 1 O /= 3/=		<b>₩ ^ =1</b> <del>=</del> <del>=</del>	

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	+画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	-41	活動指標 1 計画値 (単位/千円) 実績値	<b>}</b>		6, 250		6, 250 6, 850	6, 250	6, 250		6, 250	6, 250	6, 250	6, 250		
	指標	(単位/千円)     実績値       成果指標 1     計画値		6, 459 360	7, 155 360		360	360	360		360	360	360	360		
		(単位/件) 実績値		<b></b>	<b> </b>	A	356									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	)			達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)	)			変わらない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判 理由または関す の実績値が析	ル響りた。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事事算との補動た業均との補動た業均との補動た業ので、というでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	事予減の補動たきがしのを活し業数がしのを活し業数がしのを活し業数がした。に微減な必じに変したがした。このでは、会ながし、のでは、会ながし、のを活し業数がしのを活し業数がしのを活し業数がしていません。	判成会あらでに要てれ普断断果員るずあつなおて通し世標はほ活補はを達るあ。 に 微ぼ動物は 構成とあるでのなおで 通しま で がぼ 動物 は はんめと か 変 指金、助 は なんと と な 液変 指金、助 は なんと と な が 変 指金、助 は で なん と と か は で は で	事算と必し業数等の財産の事業額な要のというできません。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		会後の主向性				現状のまま継続										
		今後の方向性	R5 :				R8 :				R10 :					
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	商工会議所の補助	<b>めについては、経</b> 支援を行っており ら、今後も支援を∙	、市内中小企業の	経営安定に寄与										

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	人材育成支援	事業			事業期間	平成	7年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)	多様な事業展開に	こ対応できる人材(	の育成を支援するこ	ことにより、商:	工業における経営基	盤の強化を図	る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	中小企業大学校员	受講料の全額を補	助する。			
対象 (誰・何を対象としているのか)	中小企業大学校で	<b>ご講座を受講研修</b>	する中小企業者及び	が従業員。				成果 (どのような効果が 得られるのか)	従業員の研修環境	竟を整備し、有能	な人材を確保・育	『成することにより	リ経営の安定化が国	図られる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	砂川市の産業や約	圣済の根幹をなす中	小企業者等の従	<b>É業員の資質の向上</b>	を図るため助用	<b>或を行い、中小企</b> 簿	きの健全な発展を促	し、市勢を伸展さ	させるために創設	された。			

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	.画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費計画	額				0				0					0	0
		予算計」	上額				0				0					0	0
		実 績	額				0				0					0	0
	道	費計画	額				0				0					0	0
		予算計」	上額				0				0					0	0
		実 績	額				0				0					0	0
	地方(	債 計画	額				0				0					0	0
投		予算計」	上額				0				0					0	0
-		実 績	額				0				0					0	0
入	その(	他 計画	額				0				0					0	0
à		予算計」	上額				0				0					0	0
٥		実 績	額				0				0					0	0
れ	一般財法	源 計画	額	433, 000	433, 000	433, 000	1, 299, 000	291, 000	291, 000	291, 000	873, 000	291, 000	291, 000	291, 000	291, 000	1, 164, 000	3, 336, 000
		予算計」	上額	432, 600	358, 800	354, 000	1, 145, 400	291, 000	277, 000		568, 000					0	1, 713, 400
<i>t</i> =		実 績	額	60, 000	280, 000	296, 000	636, 000	219, 000			219, 000					0	855, 000
事	事業費合	計計画	額	433, 000	433, 000	433, 000	1, 299, 000	291, 000	291, 000	291, 000	873, 000	291, 000	291, 000	291, 000	291, 000	1, 164, 000	3, 336, 000
		予算計」	上額	432, 600	358, 800	354, 000	1, 145, 400	291, 000	277, 000	0	568, 000	0	0	0	0	0	1, 713, 400
業		実 績	額	60, 000	280, 000	296, 000	636, 000	219, 000	0	0	219, 000	0	0	0	0	0	855, 000
費の推	事業費予算( 内容	Ø		中小企業大学校 受講料	中小企業大学校 受講料	中小企業大学校 受講料		中小企業大学校受講料	中小企業大学校 受講料								
移	前年度予算 の比較 (増減理由)		3 ±	平均受講料・平 均受講者数を考	H29〜R3年度の 平均受講料・平 均受講者数を考 慮し減額した	平均受講料・平 均受講者数を考		受講者数を考慮	R4〜6年度の平 均受講料・平均 受講者数を考慮 し減額した								
	実績との比 (増減理由)		) 3	ルス感染拡大に より、受講希望 者が減少したた	新型コロナウイ ルス感染拡大に より、受講希望 者が減少したた め	受講希望者が減 少したため		受講希望者が減 少したため									

ŧ	旨標の!	■移・	評価														
;	舌動指	票1 (	「手段」をもとに設定)	指標名:受講者	数		指標の求め方:発	受講者数									
J.	<b></b> 发果指相	票1 (	「成果」をもとに設定)	指標名:新規受調	講事業者数		指標の求め方:初	刃めて受講した事	業者数								
						3 力年計画				3カ年計画				3次実施4カ年記	_		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
ı	ŧ	<u>i</u> )	動指標 1 計画値 単位/人) 実績値	5 3	5 11	5 12		5 7	5	į <u> </u>		5	5	5	<u>i</u> 5		
	柞	1八、	果指標 1 計画値	1	1	1		1	1			1	1	1	1		
		_	単位/社) 実績値 業の達成度	1	1	2		3									-
		(活	まめた成及 活動指標をもとに評価) 業の成果				ほぼ達成されている									ļ	
		(成	来の成果 (果指標をもとに評価) 業の効率性				変わらない										
			業費に対する成果)				変わらない										
		総1	合評価				良好である										
	事務事業評価	Б Э	総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	が1者あったものののの、か1者あったもののの、大力をできる新来ストレージをできます。 できる リー・アイ から できまる リー・アイ から できまる リー・アイ かった アイ かった アイ かった アイ かった アイ かった アイ かった できる アイ かった いった アイ かった	が1者数目の 諸者をした もいました もいました を後のの のの で進 で変の のの のの で進 のの のの できる のの のの のの できる のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	が2者あり、受 講者数しった事 を上しるとも の周知・ 要値、業	活動指標、成果 指標共に概ね達 成してからのニー がには応えられ	が3者あり、囲 講者数も計画を上回ったが 今後とも各事・ 所への周知・		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今往	 後の方向性				現状のまま継続										
				R5 :	W == = = = = = = = = = = = = = = = = =	77 Ab 700 Ab 71 Ab 72		R8 :			1	R10 :					-
	改	善、改	判断理由 革の内容 、R10)		営者及び従業員の ことにより経営の 続していきたい。												

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	資格等取得支	援事業			事業期間	令和	6年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)	市内で事業を営む等の受講に要する	3中小企業等の事 6経費を補助する	業活動の維持、生 ことにより、雇用	産性の向上と人を の促進や定着、は	- 材育成を図るため、 地域産業の振興を図	資格等の取得 図る。	に係る試験や講習	手段 (どのような方法で 実現するのか)						N企業者が負担するものの一部を した場合は補助金の返還を求める
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内中小企業者。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	雇用の促進や定: 実につながる。	着、地域産業の振	興が図られる。ま	₹た、従業員のスポ	Fルアップへ投資で	けることで事業者の福利厚生の充
事業開始時の状況緯	・これまでの経	少子高齢化や若生	年者の市外流失など	ごにより人手不足	≧が深刻化しており	、従業員が業	務に必要な資格等 <i>0</i>	)取得にかかる費用	を補助すること	により、雇用の促	進や定着、地域産	業の振興を図るた	とめ創設された。	

# [DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年合計	総合計画合計
			51 T AT	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	D BI
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
C			実 績 額				0				0					0	0
れ	— 般	段 財 源	計画額				0	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	3, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	4, 000, 000	7, 000, 000
			予算計上額				0	1, 000, 000	129, 000		1, 129, 000					0	1, 129, 000
た			実績額				0	189, 230			189, 230					0	189, 230
事	事業	費合計	計 画 額	0	0	0	0	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	3, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	4, 000, 000	7, 000, 000
			予算計上額	0	0	0	0	1, 000, 000	129, 000	0	1, 129, 000	0	0	0	0	0	1, 129, 000
業			実績額	0	0	0	0	189, 230	0	0	189, 230	0	0	0	0	0	189, 230
2882								資格等取得支援	資格等取得支援								
費		世マケの						事業にかかる助	事業にかかる助								
の	争美到	費予算の 内容						队	队								
	ľ	710															
推																	
移									想定受講者数11								
移	前年月	度予算と						事業実施	名と平均補助額 により減								
		比較							によりが								
	(増)	減理由)															
								受講者数が見込 みより少なかっ									
	実績と	との比較						かより少なかつ たことによる補									
	(増)	減理由)						助額の減									
										•							

Ħ	1標の	推移	・評価															
77	5動指	標 1	(「手段」をもとに言	設定)	指標名:中小企	業等振興補助金額		指標の求め方:「	中小企業等振興補	助金(資格等取得	支援事業)助成額	額						
Æ	<b></b> 人	標 1	(「成果」をもとに言	設定)	指標名:資格等〕	取得者数		指標の求め方: う	資格等取得者数									
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
				計画値					1, 000	1, 000	1, 000	)	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000		
		指標	(単位/千円) 成果指標 1	実績値 計画値					190	20	20		20	20	20	20		
		,,,,	以未相信 □ (単位/人)	実績値					13	20	20	<u> </u>		20	20	20		
		7	事業の達成度 (活動指標をもと															
			事業の成果 (成果指標をもと	に評価)														
			事業の効率性 (事業費に対する	成果)														
		;	総合評価															
	務	評価内容	総合評 合計 を 合由 報 の る 自 己 分	西と直に直に直に直に直に直に直に直に直に直に 割け できまま かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい か	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自資3者 自資3者 で 対取あて で が で で が で が で が で が に た 低 た を り の 親な も の 名 に も の 名 に も の ら の 。 は も の ら の に も の ら の に も の ら の に も の ら の に も の ら の に も の ら の に も の ら の に も の ら の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の ら の に 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る に る に る に る 。 に る 。 に る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		-	 今後の方向性															
	-	_			R5 :				R8 :			I	R10 :					
	광	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)		****													

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	事業承継促進	支援事業			事業期間	令和	16年度 ~ —	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
(何のために実施する	市内中小企業者は 経済を維持してい 持・発展を図る。	t地域経済の活性 いくためには廃業	化や雇用の確保、 を防ぐ必要がある:	支術の担い手なる ため、事業承継へ	- ビ、重要な役割を担 への取り組みを支援	!っており、将 !することで、	来にわたって市内 中小企業者の維	手段 (どのような方法で 実現するのか)	事業承継業務を基	専門家等に委託す	る経費の一部を補	<b>制助する</b> 。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内中小企業者。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	事業承継が行われ すことができる。		地域経済の維持、	雇用の確保などか	「図られる。また、	代表者交代による新陳代謝を促
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	多くの中小企業者	<b>者が経営者の高齢</b> 値	こや後継者不足な	こどの問題を抱えて	おり、今後廃	業を余儀なくされる	事業者の増加が予	想され、計画的に	こ事業承継を進め	てもらうよう創設	された。		

# [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
_		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>₹</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源					0	500, 000	,	500, 000	., ,	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	3, 500, 000
<i>t</i> =		予算計上額				0	500, 000	1, 121, 111		1, 926, 000					0	1, 926, 000
12		実績額				0	1, 075, 500			1, 075, 500					0	1, 075, 500
事	事業費合計		0	0	0	0	500, 000	000, 000	500, 000	1, 500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	2, 000, 000	3, 500, 000
		予算計上額	0	0	0	0	500, 000	1, 426, 000	0	1, 926, 000	0	0	0	0	0	1, 926, 000
業		実績額	0	0	0	0	1, 075, 500		0	1, 075, 500	0	0	0	0	0	1, 075, 500
費の	事業費予算の 内容						事業承継促進支 援事業にかかる 助成	事業承継促進支援事業にかかる 助成								
推							<b>入和で左座か</b> さ	亚拉法比密计划								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)							平均補助額は減 である者の平均 申請者の増(4 者)となったこ とによる予算額 の増								
	実績との比較 (増減理由)						当初見込みより 申請者の増									

#1	保の	正抄	・評価															
77	動指	票 1	(「手段」をもとに	こ設定)	指標名:中小企	業等振興補助金額		指標の求め方:「	中小企業等振興補	助金(事業承継促	進支援事業)助	<b></b>						
Æ	果指	票 1	(「成果」をもとに	こ設定)	指標名:事業承	継成約数		指標の求め方:	事業承継に結び付	いた件数								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		<b>公</b> 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		1	舌動指標 1	計画値					500	500	500		500	500	500	500		
	1	700	(単位/千円)	実績値					1, 076									
	1	景	成果指標 1 (単位/件)	計画値			 		1	1	1		1	1	1	1		
	-			実績値					3									
			事業の達成度 活動指標をもと	とに評価)														
		-	事業の成果															
		L	(成果指標をもと	とに評価)														
		4	事業の効率性 (事業費に対する	ス 式 田 )														
		-		の成未)				-										
			総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					自己分析:	日 乙 万 初 :	自己分析:	刊断理由:	事業者の高齢化	自己分析:	日已万机:	刊断理田:	日已万初:	自己分析:	日已万机:	日 乙 万 初 :	刊断理田:	
									に伴い、事業承継を検討してい									
									継を検討してい る事業者が内在									
									している影響に									
									より、申請者が 増加し、今後も									
	事								銀行や商工会議									
		平							所と連携し、現 状の把握や情報									
		西内							の共有を行い、									
		容	<b>総会証</b>	価の判断					承継の促進につ ながるよう努め									
	事		理由ま	たは指標					る。 る。									
	₽		の実績を	値に関す														
	業			ולר נכ														
	耒																	
	评																	
	西																	
		,	今後の方向性															
					R5 :				R8 :				R10 :				11	II.
	+	ch //	の判断理由															
	改	善、	改革の内容															
	(	R5.	R8、R10)															
					l								1					

# 第7期総合計画事務事業進行管理調書

— 年度 ~ — 年度

事業期間

#### [PLAN]

#### 事務事業の目的と成果

事業名 商工業金融対策事業(保証融資利子補給事業)

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業	4-2-2	4-3-1			-	所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施する のか)	融資制度を実施す	けることにより、	市内中小企業者の	資金繰りを円滑	化させるとともに、	経営の近代化	;や安定化を図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	利用者に対して信	言用保証協会保証:	料及び利息の一部	を助成する。 会利	12・3年度は竪倉	残高に応じて預託するとともに、 急金融対策の新型コロナウイルス 、融資原資は1、000万円の預
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内中小企業者。							成果 (どのような効果が 得られるのか)	運転資金、設備資	資金の借り入れに	伴う経費が圧縮さ	れることにより、	経営の安定・拡大	たが図られる。
事業開始時の状況緯	・これまでの経	行財政改革により転資金・設備資金	り平成17年度には 金ともに利子補給	利子補給を利率の を1%を限度とす	の1%から1%を限 する2分の1に、保	度とする2分 証料の全額補		行い、平成20年度	には運転資金の利	引子補給廃止および		全額から2分の1	補給とする見直し	<b>」を行ったが、平成26年度からは運</b>

#### [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	<u>の</u>	他	計画額	70, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	190, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	180, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000	240, 000, 000	610, 000, 000
<b>さ</b>				予算計上額	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	210, 000, 000	60, 000, 000	60, 000, 000		120, 000, 000					0	330, 000, 000
٥				実績額	70, 000, 000	70, 000, 000	70, 000, 000	210, 000, 000	60, 000, 000			60, 000, 000					0	270, 000, 000
れ	F	般 財	源	計画額	13, 094, 000	12, 344, 000	11, 993, 000	37, 431, 000	11, 175, 000	10, 774, 000	10, 477, 000	32, 426, 000	10, 247, 000	10, 124, 000	10, 047, 000	10, 006, 000	40, 424, 000	110, 281, 000
				予算計上額	13, 094, 000	14, 326, 000	14, 753, 000	42, 173, 000	11, 175, 000	10, 000, 000		21, 175, 000					0	63, 348, 000
た				実績額	4, 679, 854	5, 462, 394	4, 224, 864	14, 367, 112	3, 663, 411			3, 663, 411					0	18, 030, 523
事	事 :	業費合	計	計画額	83, 094, 000	72, 344, 000	71, 993, 000	227, 431, 000	71, 175, 000	70, 774, 000	70, 477, 000	212, 426, 000	70, 247, 000	70, 124, 000	70, 047, 000	70, 006, 000	280, 424, 000	720, 281, 000
				予算計上額	83, 094, 000	84, 326, 000	84, 753, 000	252, 173, 000	71, 175, 000	70, 000, 000	0	141, 175, 000	0	0	0	0	0	393, 348, 000
業				実績額	74, 679, 854	, ,	74, 224, 864	224, 367, 112	63, 663, 411	-	0	63, 663, 411	0	0	0	0	0	288, 030, 523
費の推	事	業費予算 内容	0		対策分)10,000千円 利子・保証料補給 10,000千円 利子・保証料補給(緊	対策分)10,000千円 利子・保証料補給 10,000千円 利子・保証料補給(緊	制度融資預託金 60,000千円 制度融資預託金(緊急 対策分)10,000千円 利子・保証料補給 10,432千円 利子・保証料補給(緊 急対策分)4,321千円		60,000千円 利子・保証料補	制度融資預託金 60,000千円 利子·保証料補 給10,000千円								
移		∓度予算 の比較 曽減理由			新型コロナウイ ルス緊急対策分 の利用増	新型コロナウイ ルス緊急対策分 の利用増				増(高額設備投								
		責との比 曽減理由			制度の利用額の 減少	制度の利用額の 減少	制度の利用額の 減少		制度の利用額の 減少									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:新規融資	資実行件数		指標の求め方:新	<b>新規融資実行件数</b>									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:新規融資	全額		指標の求め方:新	斯規融資金額									
		第 1 次実施	53カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	†画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	27				27	27	27		27	27	27	27		
	指標	(単位/件)	実績値	17				13 163, 280	100 000	100 000		100.000	100.000	100 000	400.000		
	175	成果指標 1 (単位/千円)	計画値実績値	163, 280 76, 170	<b></b>	163, 280 57, 580	L	90, 148	163, 280	163, 280		163, 280	163, 280	163, 280	163, 280		
		事業の達成度(活動指標を	人祝仁	70, 170	120, 490	37, 300	あまり達成されていない	00, 110									
		事業の成果(成果指標をも					あまり上がってい ない										
		事業の効率性					変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理由の実		ル響ので 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	自活指値の新ル響向投金てご動機をの型スにに資力にある。は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指地新ル響たナ分令和 を下コ感落、イ新と 下コ感落、イ 新ルスがめウの和 5 で で りの和 5 で りの和 5 で りの和 5 で りの和 5 で りのか 5 で りのか 5 で りのか 5 で りのか りのか りのか りのか りの りる りの りる りる りる りる りる りる りる りる りる りる りる りる りる	新ル響金く果画も金く果画も金く果画も金くの活指値の・・にっ転金ので、備値の・・にっ転金ので、備資をので、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できるが、できる	指標ともに計画 値を下回転資 のの、選転資と 金・設備投資と もに利用額が増	自己分析:	自己分析:	判斷理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		会後の主向性					現状のまま継続										
	方向惊	今後の方向性 生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5: 本事業は市内事事 ることから、今8	業者の経営の安定 美も継続していき:	と生産性の向上にたい。		R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	新事業展開支	援事業			事業期間	令和	]7年度 ~	— 年度		]			•		
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	4-2-1	他に関連する 基本事業	_	_					所管課係	商工労働観光課商工振興係
(何のために実施する	止後大きな影響か	が想定される市内	事業者が、新分野	展開や新商品・	- ら、同発電所に関連 サービス開発、各種 抑制に繋がる取り組	1販売促進など	の新たな取組み	発 手段 (どのよう: 実現するの	な方法で	とがあるかもしれ 和4年11月に実施	ない」との声が	多く、北海道電力(株)が	ド令和7年3月まで ・廃止に伴う市内経	には跡地利用の方に済等影響調査」にあ	っており、その内容によってできるこ 句性を定める方針であることから、令 おいて影響を受けると回答した事業者
対象 (誰・何を対象として いるのか)	北海道電力㈱砂川	発電所に関連し	た取り引きがある	市内事業者				成果 (どのよう: 得られるの		・売上の拡大	・多角化による	相乗効果・リスク分	↑散 ・衰退リス・	クの回避 ・経営	体質の改善
事業開始時の状況緯	・これまでの経														

# [DO]

実績

		第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	第 7 期 総合計画 合 計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 積 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0		3, 000, 000	3, 000, 000	6, 000, 000	3, 000, 000				3, 000, 000	9, 000, 000
た 予算計上額 宝 縛 類				0		0	0	0	0				0	0
大惊惊				0		0	0	0	0				0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	3, 000, 000	3, 000, 000	6, 000, 000	3, 000, 000	0	0	0	3, 000, 000	9, 000, 000
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
1E						令和7年度から								
移力在中区等人						事業実施								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較														
(増減理由)														
		1			1			l				l		

78	物の	E 199	• 評価															
活	動指標	₹1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:申請事	業者数		指標の求め方:『	申請事業者数									
成	果指標	₹1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:申請事	業者売上げ		指標の求め方:『	申請事業者の売上	:が事業終了後と比	ズ1年後には59	%以上の拡大						
						第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			笋	3次実施4カ年	計画		<b>空</b> 7 即
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次(10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
			5動指標 1 (単位/事業	計画値						3	3	3	3					
	指標	1 2	<b>首</b> )	美積値												ļ		
	付	12	战果指標 1 (単位/%)	計画値						100	105		105		<b></b>		_	
	-	_	事業の達成度	実績値														
		(	活動指標を 語業の成果	もとに評価)														
		(	成果指標を 事業の効率性															
		(	事業費に対	する成果)														
		総	総合評価															
	事务事業平面	6 9	理由の実	・評価の判断 または指標す 直分析	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	き後の方向性	ŧ														
	改	<b>■</b>	の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5 :				R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	商業街路灯設	置・維持費即	<b>力成事業</b>		事業期間	平成	17年度 ~ -	- 年度						<u> </u>					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係					
目的 (何のために実施するのか)	中心市街地の商業	<b>美環境の整備を図</b>	る。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	商業街路灯設置	商店会等に対し、	設置費の一部、絹	推持費として年間電	電気使用料を80%」	以内を補助する。					
対象 (誰・何を対象として いるのか)	商業街路灯設置商	<b></b> 原店会等						成果 (どのような効果が 得られるのか)	中心市街地の商: がる。	業環境の整備を図	り、商店街利用者	<b>首の利便性・安全性</b>	生を確保することで	で、商店街のイメージアップに繋					
事業開始時の状況緯	・これまでの経	国道12号の拡幅 中心市街地商店行	事業にあわせ昭和4 街利用者の安全確例	0年代以降に商店 ならびに商店街	情の近代化を図る 間の賑わい創出のた	ため、国道沿線 め事業を行っ <sup>-</sup>	線歩道のカラー舗線 ており、平成25年原	も た た た は 水銀灯から LE	開始時の状況・これまでの経 国道12号の拡幅事業にあわせ昭和40年代以降に商店街の近代化を図るため、国道沿線歩道のカラー舗装、流雪溝、街路樹とともに街路灯を整備したもの。 中心市街地商店街利用者の安全確保ならびに商店街の賑わい創出のため事業を行っており、平成25年度には水銀灯からLED電灯へと建替えを行うとともに、補助率を100%から80%に引き下げ、現在に至る。										

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費計	画額				0				0					0	0
		予算:	計上額				0				0					0	0
		実	漬 額				0				0					0	0
	道	費計	画 額				0				0					0	0
		予算	計上額				0				0					0	0
		実	漬 額				0				0					0	0
	地方	債 計 ī	画 額				0				0					0	0
投		予算	計上額				0				0					0	0
		実	漬 額				0				0					0	0
入	その・	他 計 ī	画 額				0				0					0	0
<b>≥</b>		予算	計上額				0				0					0	0
٥		実	漬 額				0				0					0	0
れ	一般財	源 計 [	画 額	706, 000	706, 000	706, 000	2, 118, 000	790, 000	790, 000	790, 000	2, 370, 000	790, 000	790, 000	790, 000	790, 000	3, 160, 000	7, 648, 000
		予算	計上額	706, 000	643, 000	934, 000	2, 283, 000	790, 000	814, 000		1, 604, 000					0	3, 887, 000
た		実	漬 額	592, 590	815, 190	770, 940	2, 178, 720	799, 160			799, 160					0	2, 977, 880
事	事業費合	計 計 i	画 額	706, 000	706, 000	706, 000	2, 118, 000	790, 000	790, 000	790, 000	2, 370, 000	790, 000	790, 000	790, 000	790, 000	3, 160, 000	7, 648, 000
		予算	計上額	706, 000	643, 000	934, 000	2, 283, 000	790, 000	814, 000	0	1, 604, 000	0	0	0	0	0	3, 887, 000
業		実	漬 額	592, 590	815, 190	770, 940	2, 178, 720	799, 160	0	0	799, 160	0	0	0	0	0	2, 977, 880
費の推	事業費予算 内容	の		管理団体への補 助金11団体		管理団体への補助金11団体		管理団体への補助金11団体	管理団体への補助金11団体								
移	前年度予算 の比較 (増減理由			予算の計算方法は 前々年度7月~前年 度6月のに計算と で一気算制して で一次に計算を でした。 で一次でででいる。 でででは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	前々年度7月~前年 度6月の電気料金を ベスに計算して紅 である。前年度実績の記 できなまえる事額の 電気料金高騰の	前々年度7月~前年 度6月の電気料金を ベースに計算している。前の電気料金を 等のででは、 を今のででは、 を踏まえる。 国の電気料金補助制		前々年度7月〜前年度 6月の電気料金をベースに計算しており、 入に計算しており、今の電気代金おり、今の電気代の状況。 の電気で観の状況。 まえ予算額の減 電気料金高騰の	予算の計算方法は前れ 年度月~前年度月月の 電度月~前年度月月の 電気料料がある。 第年度月代 で、前年度代の で、前年度代の 状況を踏まえ予算額の 増								
	実績との比! (増減理由)	較 )		のため	ため	度により、各団体に おける電気料金の負 担が抑えられたため		ため									

方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)

活動指	≦標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:商業街區	路灯管理本数		指標の求め方:商	<b></b>	数								
成果指	<b>旨標 1</b>	(「成果」	をもとに設定)	指標名:SuBACo	来館者数		指標の求め方:S	uBACo来館者数									
					第 1 次実施	63カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 (単位/基		111 111	·{			111 111	111	111		111	111	111	111		
	標	成果指標 (単位/)		1, 857 625	·{			1, 857 1, 575	1, 857	1, 857		1, 857	1, 857	1, 857	1, 857		
		事業の達 (活動指標		920	127	333	達成されている	,									
		事業の成 (成果指標	果漂をもとに評価)				上がっていない										
		事業の効(事業費に	率性  に対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価	i				普通である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	通る者口染の大学では、 り。数サにないない。 り。数サ症な代等をつま通る要が り。数サ症がでは、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 でいれて、 とかいる といれて、 でいれて、 といれて といれて といれて といれて といれて といれて といれて といれて	通る令駅たにないます。 り。和4年度整協会のでは、 り。和4年度整協会のでは、 が成立の関立では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	通り執行 るNBACO もいる は もいる は の は の は の は の は の は の は の は の は の に 。 に 。 に に の に の に の に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。		通る。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
				は不可欠である。 負担が増大してし	利便性・安全性の 、電気料金の高騰 いることもあり、 なる場合が想定さ	<ul><li>事業者の廃業等補助事業を廃止す</li></ul>	により電気代の ると商業街路灯	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	中心市街地空	き地・空き建	<b>建築物対策事業</b>		事業期間	平成	11年度 ~ -	- 年度	]					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)	中心市街地の空き	・地・空き店舗を	解消することにより	リ、消費者の利	- 更性を高め商店街の	)活性化を図る	•	手段 (どのような方法で 実現するのか)	商業地域・近隣F 舗を活用する際の	商業地域における の建築物改装費及	空き地を活用する び賃借料の一部を	際の店舗設置費の ・補助する。	カー部、既存店舗の	の改修費用の一部、また、空き店
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内中小企業者及	なび団体等。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	街並みの景観が「	向上し、中心市街	地に賑わいが創出	dされる。		
事業開始時の状況緯	・これまでの経	中小企業等が産業	業の振興に果たす役	割の重要性に銀	<b>進み、市内における</b>	新規創業、起業	業を支援するととも	に空き店舗解消に	より商店街の賑材	わい創出すること	を目的に事業が開	別始され現在に至る	5.	

# [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費					0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額				0				0					0	0
± ≥				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
れ	F	般	財源	計画額	1, 325, 000	938, 000	938, 000	3, 201, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	4, 254, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	5, 672, 000	13, 127, 000
_				予算計上額	1, 325, 000	2, 184, 000	2, 534, 000	6, 043, 000	1, 418, 000	1, 188, 000		2, 606, 000					0	8, 649, 000
た				実績額	2, 396, 500	1, 915, 989	5, 263, 757	9, 576, 246	987, 000			987, 000					0	10, 563, 246
事	事	業費	合計	計画額	1, 325, 000	938, 000	938, 000	3, 201, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	4, 254, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	1, 418, 000	5, 672, 000	13, 127, 000
				予算計上額	1, 325, 000	2, 184, 000	2, 534, 000	6, 043, 000	1, 418, 000	1, 188, 000	0	2, 606, 000	0	0	0	0	0	8, 649, 000
業				実績額	2, 396, 500		5, 263, 757	9, 576, 246	987, 000	0	0	987, 000	0	0	0	0	0	10, 563, 246
費の推	事	業費予 内容	予算の容		賃借料補助: 1,325,000円	賃借料補助: 2, 184, 000円	賃借料補助: 2,534,000円		賃借料補助: 1,418,000円	賃借料補助: 1,188,000円								
移	前:	年度予 の比 増減理			件数及び申請額 の変動による増				件数及び申請額 の変動による減									
		績との 増減3	の比較 里由)		改装費補助の申 請が3件あった ため		賃借料補助の申請 が想定より多かっ たことに加え、 装費補助の申請が 1件あったため		申請額の変動によるため									

助指標 ·	1 (「手段」をもとに設定)	指標名:中小企	業等振興補助金助	成件数	指標の求め方:「	中小企業等振興補	助金助成件数(小	・売り商業店舗等の	の新築費、改装費	、賃借料)					
具指標 <sup>-</sup>	1 (「成果」をもとに設定)	指標名:市内空	2き店舗の数		指標の求め方:ī	市内空き店舗の数	Į.								
			第1次実施	13カ年計画			第2次実施	3カ年計画			角	3次実施4カ年記	計画		第 7
		第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合言合
	活動指標 1 計画		3 3	3	8	3	3	3	8	3	(	3	3		
指標	(単位/件)     実績       成果指標 1     計画	·	5 3	31	B	31	31	31		31	3	31	31		
775	(単位/店舗 実終		{			39		31		31	<u></u>	31	31		
	事業の達成度(活動指標をもとに評				達成されている										
	事業の成果 (成果指標をもとに評	価)			あまり上がってい ない										
	事業の効率性(事業費に対する成果	)			変わらない										
	総合評価				普通である										
評価内容	理由または	補財計の出版を記述のは、	を を で で で で で で で で で で で で で	あ助値るよ増方り件るてらのたっていた。り加、使や物い、増って成を。り加、使や物い、増って放をでした用不りが合こ空減本に対していまでは事とは事とはまな業はでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	助値ので店出の減こでたい、判断値があるで店出の減こでため、おのがましかるとある。いるといるといるといるといるといるといるといい。判断を対して指定規のはあるとなる普断といるといい。当年を見からい通し、対して指定規のりい通し、対して指定があるとなる。	た件達廃店いえり物・財産・大件達廃店の場合では、大学はしてよ増とにがこ老りを持たでいまれた。 取件にされている いいけん はいましん はいましん はいまい はいまい はいまい はんしん はんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしんしん はんしん はんしんしん はんしん はん はんしん はんしんしん はんしん は		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
改善	今後の方向性 性の判断理由 、改革の内容 、RB、R10)	建築物の解消に より改装が必要 市内の空き店舗	業者が本事業を活っながっている。 な物件も多数解消に 、空き地の規出店 、今後も新規出店 ていきたい。	一方、既存の空きする。 する。 民間活力を支援す	店舗の老朽化に る本事業は有効	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	商店街ふれあ	い事業			事業期間	昭和4	46年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的(何のために実施するのか)	商店街を活性化さ	させる事業に対し	て支援することに。	より、商店街の扱	長興を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	商店街活性化事業 ふれあいを深める	(中小企業団体 る活性化事業)を	を組織化する事業 実施する中小企業	、商店街の活性(l 者及び商店街団(d	とを図るための調査 等に対して助成す	₹・研究活動事業、地域住民との 「る。
対象 (誰・何を対象としているのか)	中小企業者及び商	<b>商店街団体等</b>							中小企業者及び商ず地域の活性化に		施する商店街活性	化事業に対し助成	え 金を交付し支援す	「ることにより、商店街のみなら
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	中小企業者等が及行財政改革によりる。	産業の振興と市民生 り地域住民とのふれ	E活の向上に果た ιあいを深める活	す役割の重要性に 性化事業について	艦み、地域に根 平成17年度及び	見ざした経済基盤の が平成20年度におり	)確立と商店街の組 )てそれぞれ助成金	織化を推進するこ 額の10%削減を行	ことを目的として 行ったが、令和2年	創設された。 ∈度から事業にかか	いる諸経費の高騰	を理由に補助上限	額を32万円に増額し、現在に至

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費計	画額				0				0					0	0
		予算	計上額				0				0					0	0
		実	績 額				0				0					0	0
	道		画額				0				0					0	0
			計上額				0				0					0	0
			績 額				0				0					0	0
	地方(		画額				0				0					0	0
投			計上額				0				0					0	0
_			績 額				0				0					0	0
入	その1		画額				0				0					0	0
さ			計上額				0				0					0	0
			績 額				0				0					0	0
れ	一般財湯		画額	960, 000	960, 000	,	2, 880, 000	320, 000	,	320, 000		320, 000	320, 000	320, 000	320, 000	1, 280, 000	5, 120, 000
た			計上額	960, 000	960, 000	320, 000	2, 240, 000	320, 000	,		640, 000					0	2, 880, 000
15			績 額	0	0	153, 130	153, 130	153, 751			153, 751					0	306, 881
事	事業費合言		画額	960, 000	960, 000	960, 000	2, 880, 000	320, 000	320, 000	320, 000	960, 000	320, 000	320, 000	320, 000	320, 000	1, 280, 000	5, 120, 000
			計上額	960, 000	960, 000	320, 000	2, 240, 000	320, 000	320, 000	0	640, 000	0	0	0	0	0	2, 880, 000
業		実	績 額	0	0	153, 130	153, 130	153, 751		0	153, 751	0	0	0	0	0	306, 881
費の推	事業費予算6 内容	מ		320,000円 砂川お祭り広場:	中央商店街盆踊り: 320,000円 砂川お祭り広場: 320,000円 あさひサマーフェス	地域イベントへ の助成 砂川お祭り広 場:320,000円		の助成 中央市場祭り (仮称):	地域イベントへ の助成 中央市場納涼ビ アガーデン: 320,000円								
移	前年度予算 る の比較 (増減理由)			前年度同額	前年度同額	イベントの中止 決定による件数 の減			前年度同額								
	実績との比 (増減理由)	較 )		新型コロナウイ ルス感染症対策 により中止	新型コロナウイ ルス感染症対策 により中止	イベントの決算 に伴う減		イベントの決算 に伴う減									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:中小企業等振興補助金額	指標の求め方:中小企業等振興補助金(商店街活性化事業)助成額
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:砂川商店会連合会会員数	指標の求め方:砂川商店会連合会会員数

				第 1 次実施	[3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計
	1	活動指標 1 計画値	(3年度) 729	(4年度) 729	(5年度) 729	合 計	(6年度) 320	(7年度) 320	(8年度)	合 計	(9年度) 320	(10年度) 320	(11年度) 320	(12年度) 320	合 計	
	指	活動指標 1 計画値 (単位/千円) 実績値	729 0		729 154	. <b>4</b>	154		320		320	320	320	320		
	標	成果指標 1 計画値	77				77	77	77		77	77	77	77		
		(単位/人) 実績値	80	79	75		71									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容		ルス感染症拡大 防止により全て のイベントが中	防止により全て	行商会サテと広小め、の店おマィな場し、不知なびフルが、規模しまれてがは、規模を開いたが、規模し指に、対象を表している。 正り縮たののでは、対象を表している。 しょう はいかい かいがい しょう はいかい しょう はいない しゃ はいない しょう はいない はいない しょう はいない はいない はいない はいない しょう はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいな	判令新ル響が活でこ数ン齢がイーで盟いら判断和型スにが勤きののトでは、上では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一では、一	中アすたののり縮、耐いたののり縮、計算で表事・大のののり縮、引き、一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉の一葉のののり縮、計算では、一葉のののり縮、計算では、一葉のののり縮、計算では、しし数側よが、のののり縮、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		10-10-1														
		今後の方向性	R5 :			手段の見直し	R8 :				R10 :					
	改善、	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)	令和2年額とながでした。 中国に対したがでした。 中国に対したがでした。 中度に対したがでした。 中度には上途齢のでは、 はでいる。 中度にはがいるでは、 はでいるができる。 がでいるができる。 がでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいる。 でいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるがでいるが	業に 業新に 大いたな 大いたな 大いたな 大いたな 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	ルンは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ドログライン できない はいかい かいにい かいかい かいかい かいかい できない かいかい できない かいかい できない かいかい かいかい かいかい かいかい かい かい かい かい かい かい	ivo :				N   U					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	まちなか集客	施設「SuBAC	0」運営事業		事業期間	平成	25年度 ~ -	- 年度				1.		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-2	他に関連する 基本事業	4-5-1					所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)			行い、中心市街地 置し、まちなかの!		- 封への回遊を促し、 る。	中心市街地の	活性化を図るため	(どのような方法で		等広告媒体の設置				ある「SuBACo」に市内店舗の で商業者等の情報発信・商店街等
対象 (誰・何を対象として いるのか)	地域おこし協力隊	\$、まちなか集客	施設「SuBACo」						なかへの誘客を		賑わいに繋がる。			と人の砂川市の魅力再発見とまち となることで、商工振興及び観光
事業開始時の状況緯					西設SuBACoを平成25 居する建物内へと和			*常駐し情報発信に	努めている。					

# [DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
	地	方	債	計画額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計画額				0				0					0	0
₹				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
れ	-	般 財	源	計画額	20, 757, 000	20, 757, 000		62, 271, 000	12, 285, 000	12, 200, 000	122, 850, 000	147, 420, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	49, 140, 000	258, 831, 000
+.				予算計上額	20, 757, 000	11, 940, 000	19, 097, 000	51, 794, 000	12, 285, 000	22, 679, 000		34, 964, 000					0	86, 758, 000
た				実 績 額	11, 931, 498	7, 199, 073		24, 776, 239	9, 605, 315			9, 605, 315					0	34, 381, 554
事	事	業費合	計	計画額	20, 757, 000	20, 757, 000	20, 757, 000	62, 271, 000		12, 285, 000	122, 850, 000	147, 420, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	12, 285, 000	49, 140, 000	258, 831, 000
				予算計上額	20, 757, 000	11, 940, 000	19, 097, 000	51, 794, 000	12, 285, 000	22, 679, 000	0	34, 964, 000	0	0	0	0	0	86, 758, 000
業				実 績 額	11, 931, 498	7, 199, 073	5, 645, 668	24, 776, 239	9, 605, 315	0	0	9, 605, 315	0	0	0	0	0	34, 381, 554
費の推	事	業費予算 内容	章の		の運営管理に要す る経費:2,575,000 円 地域おこし協力隊 に要する経費: 18,182,000円	る経費:866,000円 地域おこし協力隊 に要する経費: 11,074,000円	の運営管理に要す る経費: 899,000円 地域おこし協力隊 に要する経費: 18,198,000円		地域おこし協力隊 に要する経費:	の運営管理に要す る経費:362,000円								
移		年度予算 の比較 曽減理由				う管理費の減及 び旅費・需用費 等の減	隊の採用予定者 数の増による予 算額の増		隊の採用予定者 数の減による予 算額の減	地域おこし協力 隊の採用予定者 (商店配を見込 4名配とによる 予算額の増								
		漬とのり 曽減理由			隊員数が想定に達さなかったことによる報酬や家賃等の減や 新型コロナウイルス 感染症の影響による 旅費の減等	隊員数の減によ る報酬や家賃等 の減	隊員数が想定に 達さなかったこ とによる報酬等 の減		隊員数が想定に 達さなかったこ とによる報酬等 の減									

指棋	の推和	・評価															
活重	指標 1	(「手段」:	をもとに設定)	指標名:SuBACo	来館者数		指標の求め方:S	uBACo来館者数									
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:電動自輔	运車貸出数		指標の求め方:電	<b>『動自転車貸出数</b>									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	1			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 (単位/人		1, 860 625	1, 860 427	1, 860 535		1, 860 1, 575	1, 860	1, 860		1, 860	1, 860	1, 860	1, 860		
	標	成果指標	人根尼	160	160			160	160	160		160	160	160	160		
		(単位/人		50	89	152		163									
		事業の達用					達成されていない										
		事業の成	をもとに評価)				<b>-</b>										
			をもとに評価)				上がっていない										
		事業の効果					あまり上がってい										
		総合評価	対する成果)				ない 問題がある										
		松百計Ш		自己分析:	自己分析:	自己分析:		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				SuBACo来館者数	駅前地区整備の	活動指標は昨年	コロナ禍での休	活動指標は									
				貸し出し数は、	光協会が入居す	加したものの、	館や外出自粛の ほか、SuBACoの	しが困難なた									
				新型コロナウイ ルス感染症の影	る建物内に移転 L. SuBACo内で	SuBACo内での催 L.が困難である	移転により催し が困難となった	め、ショップ カード設置等の									
				響による休館や	の催しなどが困	ことから計画値	ことから、活動	取り組みにより									
事				外出日承寺によ り計画値を大き	難となったこと から、来館者が	を下凹った。また た、成果指標は	指標・成果指標 とも計画値を大 きく下回った。	計画値は下回ったが、昨年度と									
7	評			く下回っている が 商工提問・	減少し、計画値	地域おこし協力	きく下回った。 駅前施設完成後	比較して大きく									
務	価内			観光の両面から	た。また、電動	の周知等により	のSuBACoの役割	た、成果指標は									
,,,,	容	#	と合評価の判断	るため事業の継	自転車貸出数は コロナ禍に比べ	増加傾冋にあ る。	や商店街情報の 発信方法など検										
事		Į	ᡛ由または指標	続が必要である	回復はしたもの の計画値を大き		計の必要があることから問題が	の周知等により									
			)実績値に関す 自己分析	と考える。	の計画値を入さ く下回った。		あると判断し										
業							た。										
評																	
価																	
		今後の方向	<b>与性</b>				手段の見直し										
				R5 :	1. 7 Th == 1- N/ · ·	N/ += + 1 . = .0 =		R8 :				R10 :				1	
					よる移転に伴い、 等広告媒体の設置												
					による情報発信を												
				して行っていく。	い創出のため情報 必要があるが、駅	前施設完成後のSu											
	方向	生の判断理	由	の方策については	<b>は改めて検討の必</b>	要がある。											
		、改革の内 R8、R10)															

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

第3次実施4力年計画

(単付:円)

事 業 名	創業支援事業				事業期間	平成	29年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	4-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)	市内での創業を仮は事業承継を支援	E進し、空き店舗 受することで、市	数の解消と地域経 内への定住及び市	済の活性化を図っ の活性化を図る。	- る。また、地域おこ <sub>・</sub>	こし協力隊の市	内における起業又	手段 (どのような方法で 実現するのか)	商工会議所が開	催する創業セミナ	一の実施を支援す	るとともに、創業	業補助金の交付、	携し、ワンストップ窓口の設置や 地域おこし協力隊については、砂 金として交付し支援する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内で創業を希望	望する者及び創業	後5年以内の者ま	たは地域おこし	<b>劦力隊の任期2年</b> 目	から任期終了	後1年以内の者。	成果 (どのような効果が 得られるのか)		、空き店舗数の解 業承継によって市			また、地域おこ	し協力隊の定住に繋がるととも
事業開始時の状況緯	・これまじの栓	計画の特定創業	支援等事業として、	商工会議所が創	議所、砂川金融協会 リ業セミナー開催事 販路開拓・売上拡	業を行うため、	開催に伴う費用	を助成する。			には設備・備品等	・ に利用可能な補助	加金を交付する。	

第2次実施3力年計画

#### [DO]

実績

(増減理由)

第1次実施3力年計画

第1年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 第2年次 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 合 計 合 計 (3年度) (4年度) (5年度) (6年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 債 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 の 予算計上額 さ 実 績 額 計画額 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 3, 498, 000 2, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 4, 498, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 4, 664, 00 12, 660, 000 - 般 財 源 予算計上額 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 3, 498, 00 2, 166, 000 1, 166, 000 3, 332, 000 6, 830, 000 実 績 額 1.466.000 1.459.300 1.466.000 4, 391, 30 2, 166, 000 2, 166, 000 6, 557, 300 計画額 2, 166, 000 事業費合計 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 00 3, 498, 00 1, 166, 000 1, 166, 00 4, 498, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 00 1, 166, 000 4, 664, 00 12, 660, 000 予算計上額 1, 166, 000 1, 166, 000 1, 166, 000 3, 498, 000 2, 166, 000 1, 166, 000 3, 332, 000 6, 830, 000 実 績 額 1, 466, 000 1, 459, 300 1, 466, 000 4, 391, 300 2, 166, 000 2, 166, 000 6, 557, 300 商工会議所補助金 商工会議所補助金 商工会議所補助金 (創業セミナー開 (創業セミナー開 (創業セミナー開 商工会議所補助 商工会議所補助金 費 金(創業セミ (創業セミナー開 催分) 166,000円 催分) 166,000円 催分) 166,000円 ナー開催分) 催分) 166,000円 事業費予算の 地域おこし協力隊 地域おこし協力隊 地域おこし協力隊 166,000円 地域おこし協力隊 の 内容 地域おこし協力 創業支援補助金 創業支援補助金 創業支援補助金 創業支援補助金 1,000,000円 1,000,000円 1,000,000円 隊創業支援補助 1,000,000円 推 金2,000,000円 前年度同額 前年度同額 前年度同額 地域おこし協力 地域おこし協力 移 隊創業支援補助 隊創業支援補助 前年度予算と 金の申請予定件金の申請予定件 の比較 数の増 数の減 (増減理由) 創業補助金の利 創業補助金の利 創業補助金の利 用実績による増 用実績による増 用実績による増 予算額同額 実績との比較

活重	指標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:ワンス	トップ窓口の相談	件数	指標の求め方:「	フンストップ窓口	の相談件数								
		(「成果」をもと				** *件数及び事業承継件				井数及び事業承継	件数						
					第1次実施	· 3 力年計画	<u>.                                      </u>		第2次実施	も3カ年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		ar stille iss.	! =1 == /±	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	指	活動指標 1 (単位/件)	計画値実績値	8 12	8	6		12		3	8		5		5		
	標	成果指標 1	計画値	2		2 3		3	4	1	4		4 5	j - {	5 (	6	
		(単位/件)	実績値	5	6	5 2		3									
		事業の達成度 (活動指標をも	とに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をも	とに評価)				上がっている										
		事業の効率性					上がっている										
		総合評価	<u> </u>				良好である										
事務事業評価	評価内容	理由るの実績	平価の判断標 または指標 ま分析	創承計で創がり各きになって、おいなる。として、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	創業件数ともに 計画値を達ひいる いっぱいの設置や の設置や開催 を まナーの開催の	自活指値の空発創れ活がついます。これでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、おいまでは、生きない。のでは、おいまでは、生きない。のでは、までは、生きない。のでは、までは、生きない。のでは、おいまでは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、	口の相談件数も 計画値以上件数 移り増加し、 も増加ら良い で あると判断し	創業件数・事業 承継件数ともに 計画値に達して いる。新たに創		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善,	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		者が増加している 補助金は協力隊2	る。また、地域お 卒業後の定住につ	セミナーの実施に こし協力で いる。 ながっている。 な る た め 、 現 状 の ま ま る た る た る た る た る た る た る た る た る た	は事業承継支援 Bき店舗の解消と	R8 :				R10 :					

# 第7期総合計画事務事業進行管理調書

#### [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0 0 事業 名 企業振興促進対策事業 平成元年度 ~ — 年度 事業期間 第7期総合計画 の位置付け 他に関連する 基本事業 4 - 2 - 3事業性質区分 新規・継続 建設外 所管課係 商工労働観光課企業労政係 継続 建設・建設外 企業施設を新設、増設または移設する者に対し補助金を支給することにより、企業の設備投資を促す。 手段 企業施設を新設、増設または移設する者に対して助成措置を行うことにより、企業の設備投資にかかる負担を軽減し、 企業施設の投資額1,500万円以上、従業員が3人以上を条件としている。 (何のために実施するのか) (どのような方法で 実現するのか) 企業の立地や事業の拡大を促進する。 成果 (どのような効果が 得られるのか) 企業施設の新設・増設・移設に係る経費を軽減し、企業の設備投資を促すことにより、雇用の確保や市内購買等、経済 初果が見込まれる。 対象 (誰・何を対象として 企業施設を新設、増設または移設する者。 いるのか) 平成元年度に条例を制定し事業を開始。 事業開始時の状況・これまでの経 平成9年度一部改正。

平成24年9月に条例を一部改正し、補助基準、限度額、対象地域を拡大し、市外からの企業誘致の他、市内企業の投資にも対応できるよう優遇措置を改善。

令和2年3月19日公布にて、令和6年3月31日まで対象期間を延長した。

#### [DO]

実績

				第1次実施	163カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	· 画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費計画名	頁			0				0					0	0
		予算計上額	頁			0				0					0	0
		実績	頁			0				0					0	0
	道	費 計画 額	頁			0				0					0	0
		予算計上額	頁			0				0					0	0
		実績	頁			0				0					0	0
	地方(	責計画 額	Į į			0				0					0	0
投		予算計上額	Ą .			0				0					0	0
12		実績	頁			0				0					0	0
入	そのも	也計画者	Į į			0				0					0	0
		予算計上額	Ą .			0				0					0	0
\$		実績	Į į			0				0					0	0
れ	一般財法	原計画名	<b>A</b> (	15, 000, 000	15, 000, 000	30, 000, 000		15, 000, 000	15, 000, 000	30, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	60, 000, 000	120, 000, 000
		予算計上額	<b>A</b> (	0	0	0	0	0		0					0	0
た		実績者	頁 150, 254, 000	1, 908, 000	32, 253, 000	184, 415, 000	197, 176, 000	)		197, 176, 000					0	381, 591, 000
車	事業費合	計計画名	<b>A</b> (	15, 000, 000	15, 000, 000	30, 000, 000	0	15, 000, 000	15, 000, 000	30, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	60, 000, 000	120, 000, 000
7		予算計上額	Ą (	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績者	頁 150, 254, 000	1, 908, 000	32, 253, 000	184, 415, 000	197, 176, 000	0	0	197, 176, 000	0	0	0	0	0	381, 591, 000
2881				企業振興促進補	企業振興促進補			企業振興促進補								
費			助金	助金	助金		助金	助金								
o o	事業費予算( 内容	70	当初予昇計上せ ずに補正対応	当初予算計上せ ずに補正対応	当初予昇計上せ ずに補正対応			当初予算計上せ ずに補正対応								
			) ICIME XIND	) ICIME XING	) ICIMIE X170		) ICIME XING	) ICIME XIND								
推																
移																
13	前年度予算。 の比較	본														
	の比較  (増減理由)															
	( 1,7, 1,7,															
			6月補正	3月補正	12月補正		12月補正									
	rtu/# L m U.s		150,000千円	1,908千円	30,000千円 3月補正		182,236千円 3月補正									
	実績との比 (増減理由)		企業の補助対象投	日 企業の補助対象投 資に対する税補助	2, 253千円		14.940千円									
	(2日//久土山)		資に対する補助及 び税補助	Ż	I N 9 STHIBILD OUT		企業の補助対象投資 に対する補助及び税									
			い代補助		補助		補助									

	旨標の	推移	・評価															
į	舌動指	標 1	(「手段」をもる	≤に設定)	指標名:補助金額	額		指標の求め方:袖	甫助金額									
ļ	成果指	標 1	(「成果」をもる	:に設定)	指標名:施設新訂	投等を行った企業	の新規雇用者数	指標の求め方:新	所規雇用にかかる	助成を行った人数								
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
ı					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
			活動指標 1	計画値	15, 000				15, 000	,	15, 000		15, 000	15, 000	15, 000	15, 000		
		指標	(単位/千円)	実績値計画値	150, 254	1, 908	32, 253		197, 176	3	2		3	3	2	3		
		,	成果指標 1 (単位/人)	実績値	0	0	0		18	3					3			
			事業の達成度 (活動指標をも					達成されている										
ı			事業の成果 (成果指標をも	らとに評価)				上がっていない										
ı			事業の効率性					上がっていない										
		-	総合評価	<u> </u>				良好である										
	務	評価内容	理由の実	評価の判断標 またはに関す 己分析	度は(2)目存設設なら図考 の、発目を開発している。 の、程目によりである。 は(2)企作的をこ業も のでまた。 ので表現であるとなりである。 のでは、場談であるとなりである。 のであるとが、場談である。	な か で で で で で で で で で で で で で	度の補助内容 は、税額補助 (3年目かび4年目)に乗りた業の で業の方で で業の方で で業の方で でまり、 でまり、 でまり、 でまり、 でまり、 でまり、 でまり、 でまり	の、咸健不は、成果指標は、の、成化を、原体を、原体を、原体を、表の、の、のを、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、のので、の	度の補助内容 は、税額補助 (1年目、4年目 及び5年目)に 加え、既存企業	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		,	今後の方向性					現状のまま継続										
								があるため、現	R8 :			II.	R10 :					
	강	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)			判断した。令和 6 及び企業がおかれ 要がある。												

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	企業誘致推進	事業(東京砂	)川会)		事業期間	昭和	159年度 ~ -	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課企業労政係
	砂川市にゆかりの を入手し企業誘致			もらい、会員相.	- 互の親睦、交流、情	<b>情報の交換を通</b>	iして、企業情報等			開催)、総会(隔 会開催年度であっ			O拡大により、開	<b>催を延期し令和3年度に開催予定</b>
対象 (誰・何を対象として いるのか)	会員(首都圏及び	びその周辺に在住	する者のうち、砂	川市の出身者又	は縁故のある者。)			成果 (どのような効果が 得られるのか)	役員会、総会にる。	多くの会員が参加	してもらうことに	こより、企業誘致等	等、砂川市の繁栄!	に結びつくような情報を入手す
事業開始時の状況緯	・これまでの経	企業誘致の推進を 昭和59年11月に3 ピーク時は825名	を図るため、道外1 311名の会員で設立 の会員がいたが、	企業が砂川に興味 し、毎年、役員 会員の高齢化も	未を持つよう、砂川 会及び総会を開催↓ 進み令和4年7月₹	出身者、かつ ってきた。平成 末現在、118名の	て砂川に居住した1 は11年に総会の開催 の会員となっている	と業関係者に砂川を を一度休止し、役! な。	"ふるさと"と「 員との協議を経て	して思い出し関係 、行政改革により	者の人脈を頼るた   平成12年から役員	め、東京砂川会で 員会は毎年、総会!	がくりの活動を開始 は 1 年おきに開催	台。 することとした。

# [DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額	620, 000	620, 000		1, 240, 000	1, 149, 000		698, 000	1, 847, 000		698, 000		698, 000	1, 396, 000	4, 483, 000
+-		予算計上額	620, 000	648, 000		1, 927, 000	1, 149, 000			1, 149, 000					0	3, 076, 000
<i>t</i> =		実績額	90, 126	231, 600	585, 668	907, 394	819, 237			819, 237					0	1, 726, 631
事	事業費合計	計画額	620, 000	620, 000	0	1, 240, 000	1, 149, 000	0	698, 000	1, 847, 000	0	698, 000	0	698, 000	1, 396, 000	4, 483, 000
		予算計上額	620, 000	648, 000	659, 000	1, 927, 000	1, 149, 000	0	0	1, 149, 000	0	0	0	0	0	3, 076, 000
業		実績額	90, 126	231, 600	585, 668	907, 394	819, 237	0	0	819, 237	0	0	0	0	0	1, 726, 631
費の推	事業費予算の 内容		費、食糧費、賄 材料費、通信運	費、食糧費、賄 材料費、通信運	旅費、消耗品 費、食糧費、賄 材料費、通信運 搬費		報償費、旅費、 消耗品別 費、助財材費、 費、 重信運搬費、 通信運搬費、 場等借上料									
移	前年度予算と の比較 (増減理由)			直し	直し		40周年事業実施 による増額	総会開催なし (隔年開催)								
	実績との比較 (増減理由)		新型コロナウイ ルス感染症の影響で、総会を書 面開催としたた め	ルス感染症の影響で、役員会の	ルス感染症に よってい延期し		当初見込みより も、荷物運搬費 が少なく済んだ ことによる執行 残									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:会員数			指標の求め方:	東京砂川会事業年	度である10月1日	現在の会員数							
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:市の発展	展に繋がる情報提	供数	指標の求め方:頭	東京砂川会会員に	よる情報提供数								
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	+画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	†画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	-41	活動指標 1 (単位/人)	計画値	160		<b> </b>	4	190 106	200	210		220	230	240	250		
	指標		実績値 計画値	126		96		100	1	1		1	1	1	1		
	124	成果指標 1 (単位/件)	h	0	<b></b>	<u>'</u>		0							}'-		
		事業の達成	人权性	Ů	Ů	Ů		,									
			きもとに評価)				達成されていない										
		事業の成果 (成果指標を	をもとに評価)				上がっていない										
		事業の効率	性 対する成果)				上がっていない										
		総合評価					普通である										
				自己分析:会員	自己分析:会員	自己分析:会員	判断理由:会員	自己分析:会員	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理の		りくウののた新進でが等川川のた外でである。 大野関に 会員図なをきた 会通ののた 報し情報 といい かいこのの た 発 化 いい かい	響で、総会の開 催を中止したこ	り 人 新ル響 を を を を を の の は に に に た り み の に に に た り の の に に に た り の の に に に た の の の に に に に た の の の に に に た の の に の の ら の の ら の の ら の の の ら の ら の の の の の の の の の の の の の	はあ口染員かりし、はあ口染員かりし、インの知た普。ので型などと判断を表している。というなどの知た。ととと、おいるのでは、は、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないのでは、ないのでは	象に会員案内を 送付したところ 15名程度の加入 があった。ま た、会報の発行									
		^# o = =	Lut.				現状の土土他は										
		今後の方向	1±	DE . 슈吕퐈샤冲·	TIVZ+-W	は1-11111111111111111111111111111111111	現状のまま継続	D0 .				D10 .					
				R5:会員奴か減り 取り組みを行う。		付に 現役 世代の会	員数増加を図る	ко:				R10 :					
		生の判断理由															
		、改革の内容 (R8、R10)	3														
	(No.	, NO, NIO)															
	_		·				· ·		· ·			· ·			·		

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	企業訪問事業				事業期間	_	年度 ~ —	年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課企業労政係
目的 (何のために実施するのか)	事業の拡大を予算	己している企業を	訪問し、企業の情	報収集や砂川市の	のPRを行うことに	より、企業誘	致の推進を図る。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	事業の拡大を予算	定している企業等	を訪問し、企業の	)情報収集や砂川市	5のPRを行う。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	誘致対象企業							成果 (どのような効果が 得られるのか)	企業進出により、	,市内経済の活性	化、雇用の増加な	こど経済効果が見る	込まれる。	
事業開始時の状況緯	・これまじの栓	北海道から紹介し	してもらうシステム	ムがなくなり、ヨ	召介してもらい、砂 主に民間企業を通じ 意向のある企業調査	て事業拡大を	予定している企業を	紹介してもらい、	道内外にわたり砂	少川市のPRを行	っている。			

# [DO]

実績

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	地	方	債	計 画 額				0				0					0	0
投				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の	他	計 画 額				0				0					0	0
<b>≥</b>				予算計上額				0				0					0	0
-				実 績 額				0				0					0	0
れ	_	般 財	才 源	計 画 額	967, 000	967, 000	820, 000	2, 754, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	3, 171, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	4, 228, 000	10, 153, 000
				予算計上額	2, 518, 000	2, 192, 000	1, 974, 000	6, 684, 000	1, 057, 000	1, 304, 000		2, 361, 000					0	9, 045, 000
た				実 績 額	4, 459, 600	1, 380, 000	1, 678, 290	7, 517, 890	869, 552			869, 552					0	8, 387, 442
事	事	業費1	合計	計 画 額	967, 000	967, 000	820, 000	2, 754, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	3, 171, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	1, 057, 000	4, 228, 000	10, 153, 000
				予算計上額	2, 518, 000	2, 192, 000	1, 974, 000	6, 684, 000	1, 057, 000	1, 304, 000	0	2, 361, 000	0	0	0	0	0	9, 045, 000
業				実 績 額	4, 459, 600	, ,	1, 678, 290	7, 517, 890	869, 552	0	0	869, 552	0	0	0	0	0	8, 387, 442
費の推	事業	業費予 内容			企業誘致旅費、 草刈委託	企業誘致旅費、 草刈委託	企業誘致旅費、 草刈委託		企業誘致旅費、 消耗品費、通信 運搬費									
移	前至	丰度予 の比東 曽減理	交			草刈実施面積の 滅による委託料 滅			印刷製本費の減	東京砂川会会員 加入案内送付の ため通信運搬費 の増								
		漬との 曽減理			3月補正 2,757千円 道央砂川工業団地 売却に伴う除草作 業の追加により委 託料増	道央砂川工業団 地分譲により草 刈面積減少	執行残		当初見込んでいたより出張が少なかったことによる執行残									

Ħ	標の	推移	・評価															
7	動指	標 1	(「手段」をも	とに設定)	指標名:企業訪問	問数		指標の求め方:記	訪問企業の数									
Ę	<b></b> 大果指	標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:誘致・	事業拡大した企業	数	指標の求め方:記	秀致・事業拡大し	た企業数								
							3 カ年計画				3 力年計画				3次実施4力年記			第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
H		Ŀ	舌動指標 1	計画値	(3年度)				10年度)	(7年度)			(9年度)					
		指	(単位/社)	実績値	0	21	30	)	40	)								
		標	成果指標 1 (単位/社)	計画値実績値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
	-	4	事業の達成度			V		達成されている										
		-	活動指標を 事業の成果	もとに評価)				達成されている										
			事業の成業 (成果指標を	もとに評価)				上がっていない										
			事業の効率性 (事業費に対					上がっている										
		H	学来質に <u>対</u> 総合評価	9 包以末/				良好である										
		ľ	- C I I I II		自己分析:新型	自己分析:誘	自己分析:今年	判断理由:活動	自己分析:今年	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					咸込症の影響	た企業けなかっ	丁場博設に伴う	指標は達成され ているが、成果	<b>重</b> 型 新 音 音 新									
					で、市外企業訪問を行うことが	たものの、継続	施設建設補助を	指標が達成できなかった。定期的な企業訪問を	設に伴う施設建設補助をおっ									
					できず、活動実	行う必要があ	から、企業振興	的な企業訪問を	なったことか									
					績はないが、企 業立地意向調査	る。	が図られたもの と考える。今後	続けることが重 要であると考え	ら、企業振興が 図られたものと									
	事				への回答企業に		も継続して企業	要であると考え良好であると判	考える。今後も									
		評価			対し、砂川市を PRするメール		訪問を行い、情 報収集に努めて		継続して企業訪 問を行い、情報									
	務	内			を送付するなど の活動をおこ		いく。		収集に努めてい く。									
		容	総合	評価の判断	なった。				` 0									
	事		理由の実	または指標 発値に関す														
			る自	己分析														
	業																	
	評																	
	āŦ																	
	価																	
		L																
		-	今後の方向性	<u> </u>			)	現状のまま継続	200				D10					
						やニースを把握し 大の支援や促進を		することで、企	K8 :				R10 :					
	-	白性	の判断理由															
	5	善、	改革の内容															
		(R5.	R8、R10)															

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 〇 過疎計画掲載 〇

事 業 名	地域ブラント	定着推進事業	ŧ		事業期間	平	成29年度 ~	年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	4-2-4	他に関連する 基本事業	4-5-1	4-4-1				所管課係	商工労働観光課商工振興係
目的 (何のために実施するのか)	令和4年度まで到ことで、地域ブラ	実施していた地域 ランドの定着を図	ブランド構築事業 り、域内外からの	によって生まれ 外貨の獲得を目	・ た一般社団法人オフ 指す。	アリパが取り組	む事業を支援する	手段 (どのような方法で 実現するのか)	一般社団法人オ <sup>・</sup> 力隊が事業者間(	アリパが行う地域 の結びつけなどを	資源を活用した商 支援する。	<b>高品開発や販路開拓</b>	ī支援、イベント(	の実施などに対し、地域おこし協
対象 (誰・何を対象として いるのか)	一般社団法人才	アリパ、市内中小	企業者、各支援機	関等				成果 (どのような効果が 得られるのか)	砂川市への誘客(られる。	の促進・着地型消	費が実現され、市	「内事業者及び市内	経済の好循環が	<b>主まれ、地域内消費の最大化が図</b>
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	事業者が集まり地 地域ブランドの分 域商社・DMOの機	地域の魅力を域内を タイトルを『安心・ 能を持つ組織とな	トへと発信するこ さすらぎ共和国 ることを目指し	ことを目的として、 「OASIS REPUBLIC-S ている。	平成29年から <sup>1</sup> SUNAGAWA BASE」	平成30年の地域資   』 (オアリパ)	源の掘り起こしを紹 とし、商品開発、街	で令和元年9月に 光誘客、人材育原	任意団体を結成し 成、情報発信等に	た。 取り組み、令和44	∓8月には一般社団	法人才アリパが訂	设立され、インキュベーション・地

# [DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額	3, 500, 000	3, 500, 000		7, 000, 000				0					0	7, 000, 000
			予算計上額	3, 500, 000	2, 700, 000		6, 200, 000				0					0	6, 200, 000
			実績額	3, 100, 000	2, 700, 000		5, 800, 000				0					0	5, 800, 000
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
7	その	他	計画額	1, 750, 000	1, 750, 000		3, 500, 000				0					0	3, 500, 000
さ			予算計上額	1, 750, 000	1, 440, 000		3, 190, 000				0					0	3, 190, 000
			実績額	1, 640, 000	1, 430, 000		3, 070, 000				0					0	3, 070, 000
れ	一般貝	才 源	計画額	5, 335, 000	5, 335, 000	4, 576, 000	15, 246, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	= 1, = 1 1, 1 1 1	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	32, 372, 000	71, 897, 000
た			予算計上額	5, 311, 000	5, 070, 000	7, 352, 000	17, 733, 000	8, 093, 000	8, 578, 000		16, 671, 000					0	34, 404, 000
12			実績額	5, 125, 329	5, 024, 634	7, 352, 000	17, 501, 963	0			0					0	17, 501, 963
事	事業費	合計	計画額	10, 585, 000	10, 585, 000	4, 576, 000	25, 746, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	24, 279, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	8, 093, 000	32, 372, 000	82, 397, 000
			予算計上額	10, 561, 000	9, 210, 000	7, 352, 000	27, 123, 000	8, 093, 000	8, 578, 000	0	16, 671, 000	0	0	0	0	0	43, 794, 000
業			実績額	9, 865, 329	9, 154, 634	7, 352, 000	26, 371, 963	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26, 371, 963
費の推	事業費予 内容			地域おこし協力 隊に要する経費 3,552,000円	築に要する経費 5,598,000円 地域おこし協力 隊に要する経費 3,612,000円	隊に要する経費 7,352,000円		地域おこし協力 隊に要する経費 8,093,000円	地域おこし協力 隊に要する経費 8,578,0000円								
移	前年度予 の比 (増減理	較		地域おこし協力 隊員採用に伴う 人件費の増等	務委託料の減	コンサルへの業務委の、している。これが、地域用により、地域用によりの様類等の増があった。		による人件費等	勤勉手当の支給 による人件費等 の増								
	実績との (増減理			視察や各種イベントの参加中止 等に伴う旅費の 減等	せの回数減に伴	増減なし		地域おこし協力 隊の採用が決ま らなかったた め、支出なし									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:チーム参加事業者数(R5まで)	指標の求め方:チーム参加事業者数
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:地域ブランドの商品数(R5まで)	指標の求め方:展示会等への出展した商品、本事業で開発した商品の数
活動指標 2	指標名:事業担当協力隊員数(R6から)	指標の求め方:事業担当協力隊員数
成果指標 2	【指標名:一般社団法人オアリパ会員事業者数 (R6か	指標の求め方:一般社団法人才アリパ会員事業者数

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	13カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1 計画値	(3年度)	(4年度) 51	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度) 75	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度) 95	(12年度)		
		(単位/者) 実績値	40	47	50			73		<u> </u>		30	33	100		
	指	成果指標 1 計画値	30	35	40		45	50								
	煙	(単位/品) 実績値	29	29	31		2	0				0				
		活動指標 2 計画値 (単位/人) 実績値					0	3	<u></u>			3	ა ა	3		
		成果指標 2 計画値 (単位/者) 実績値					67 46	75	80	2	85	90	95	100		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				あまり達成されていない										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がってい ない										
		総合評価				普通である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	び で で で が で が に で に で に で に で に で に で に で で に で が に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で が し で が で に で が し で が し に が し で が に が し で が し で が で が し で が し で が し で が し で が し で が が が が が が が が が が が が が	アれ上数も標回たの開か中こ者り、しばのはつ、出発に高いまでは、も、連いまではが出れて、画い示やはが品らのが知加え、画い示やはが品らの、出発にあかまり、も、連続をいる。というでは、まない。というでは、まない。	指標の は で が は で の 大知 で の 大知 で の 大知 を も回 一 ア が加加 、 も り の 大 の 、 は 明 の 、 は 明 の 、 は 明 の に し た に の 大 の た の た の は の は の に の は の は の に し に は の は の に し に の は の に は の に し に の に に の に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	普通であると判断した。	指値りド隊な今にいいている。としているにいているが、といいでいるが、といいでいるが、は、いいのか後に、このかのは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性	D.F.			現状のまま継続	D0				210					
	方向t 改善、 (R5、		業が終了したが、 要である。地域は ているが、一般を	地域ブランドの おこし協力隊によ	パが設立され地域 定着のためには継 る事業者間の結び の継続した活動 ることとしたい。	続した支援が必 つけなどを行っ	R8 :				R10 :					

# [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	農商工連携促	進事業			事業期間	平成	24年度 ~ -	- 年度						·		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	4-2-4	他に関連する 基本事業						所管課係	商工労働観光課商工振興係		
目的 (何のために実施するのか)	農林業者及び商工業者の連携を図り、当市の優れた地域資源を活用して新商品を開発する者に対し支援することにより、地域経済の活性化と地域産業の振興に寄与する。									農林業者が持つ素材と中小企業者等及びNPO等が持つ知識と技術を活用した新商品の試作及び研究に係る経費の一部を助成する。						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内農林業者と選	重携する中小企業	者等、NPO等				異業種の連携が促進することにより、地域経済の活性化が図られる。									
事業開始時の状況・これまでの経 申小企業等振興条例(第10条関係)において、中小企業者に対する地場産品の開発・研究事業についての助成制度が平成7年度に制定されているが、中小企業者に限定せず、地場産品の開発・研究事業について原材料費を補助する砂川市農商 工連携促進助成金交付要綱を平成23年度に制定。																

# [DO]

実績

		第1次実施	13 力年計画		第2次実施3カ年計画					第 7 期				
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	総合計画合計
国 費 計画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績部				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上部				0				0					0	0
実績部				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投 予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画 都		200, 000	200, 000	400, 000	0	0		0					0	400, 000
を 予算計上額		0	0	0	0	0		0					0	0
大根前		0	0	0	0	)		0					0	0
事業費合計 計 画 額		200, 000	200, 000	400, 000	0	0	(	0	0	0	0	0	0	400, 000
予算計上額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業実績額		0	0	0	0	0	C	0	0	0	0	0	0	0
費	当初予算計上せず、補正対応	当初予算計上せ ず、補正対応	当初予算計上せ  ず、補正対応		当初予算計上せず、様で対応	当初予算計上せ ず、補正対応								
事業費予算の	9、桶正剂心	9、桶正剂心	9、桶正剂心		9、桶正对心	9、桶正列心								
の内容														
推														
7庄	当初予管計 上井	当初予算計上せ	当如 <b>习</b> 質計上++		当初予管計 ▶ ↔	当初予算計上せ								
移			ず、補正対応		ず、補正対応	ず、補正対応								
前年度予算との比較														
(増減理由)														
	増減なし	増減なし	増減なし		増減なし									
実績との比較														
(増減理由)														
		l	1		11	1		Ц	U	l .		I		

拼	指標の推移・評価																	
			「手段」をもと			連携促進助成金助	成額	指標の求め方:農商工連携促進助成金助成額										
成	と果指標	票1 (	「成果」をもと	に設定)	指標名:異業種法			指標の求め方:昇	<b>異業種間における</b>	連携事業の取り組		・件数						
			第 1 次実施 3 力年計画			** · ** · **	第2次実施3カ年計画					第 3 次実施 4 力年計画			第7期			
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次(7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
			動指標 1	計画値	200				200				200					
	指標	THE REAL PROPERTY.	(単位/千円)	実績値 計画値	0		0	)	0	)							,	
	Ja	JJX.	、果指標 1 (単位/件)	計画値 実績値	0		) <u> </u>	)	0	)								
			業の達成度 舌動指標をも	とに評価)				達成されていない										
			業の成果 成果指標をも	とに評価)				上がっていない										
			業の効率性 事業費に対す	ろ成果)				上がっていない										
		_	合評価	·0/xx/				問題がある									<u> </u>	
and the sale	事務事業評価	评而为	総由	平価の判断 たたは指標 責値に関す よ分析	申請がなかった ため実績がな かった。	申請がなかった	申請がなかった	判断理由: 申請がなかった	申請がなかった ため実績がな かった。		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今	後の方向性					現状のまま継続										
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		を促すためには	必要な事業である 発の支援を行なう	あるが、新商品開	ランド定着推進事	R8 :				R10 :							